

ロシア為替週報

2023年5月22日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(5月13日～5月19日)

USD/RUB: 77.6675～81.0600

先週1週間のロシア・ルーブル相場は大幅続落。15日から17日にかけて先週末終値対比で対ドルで2%を超える下落となった。その後、18日から19日にかけては横ばいでの推移となっている。週前半のルーブルの下落は、グローバルなドル高の裏返しという側面も見られるが、これで4月末から5月中旬にかけてのルーブルの反発がほぼ帳消しとなった格好だ。

先週のロシアでの最大のトピックスは、広島で行われたG7サミットで示された対ロシア制裁の強化の方針であろう。5月19日に公表された声明文では、対ロシア制裁を強化する方針が6つの項目にわたって並べられており、その中には、輸出制限の対象をロシアがウクライナ侵攻を進めるうえで重要なすべての品目に拡大できるように行動するほか、製造や建設、輸送などの従事者を制裁対象に加える、といった項目が含まれている。また、ロシア産原油の輸入価格の上限設定措置など既存の制裁項目が効果を発揮するよう徹底を図るほか、新たな品目ではロシアで産出・加工されたダイヤモンドの取引や使用を制限する方向で協議を進める方針が示されている。総じて、既存の制裁の効果を浸透させることに重点が置かれた印象であり、ロシア経済への追加の影響は当面は限定的と見られるが、対ロシアでG7が団結する方針が改めて確認された点が重要であろう。

一方、ロシア統計局が公表する経済指標では、制裁が続くなかで同国経済が底堅く推移していることを示している。5月17日に公表された2023年1～3月期の実質GDP成長率は前年同期比で▲1.9%となり、2022年10～12月期の▲2.7%からマイナス幅が縮小した。業種別に見ると、卸売業(▲10.8%)、小売業(▲7.3%)をはじめ大幅マイナスとなっているものもあるが、建設業(+8.8%)、農業(+2.9%)と延びている業種もある。ロシアの統計を巡っては実態を反映しているのかを訝しむ声もあるものの、筆者が2016年にモスクワを訪れた際に既に「制裁慣れ」(2014年のロシアによるクリミア併合後の欧米を中心とする制裁)という声が多く企業の関係者から聞かれたことを考慮すれば、GDP統計のほか、労働市場関連統計で示されるロシア経済の底堅さとも不思議ではないように感じられる。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/15	14:00	外貨準備高	5/5		\$599.2b	\$598.9b
5/17	17:00	GDP(前年比)	Q1	-2.1%	-1.9%	-2.7%
5/18	14:00	外貨準備高	5/12		\$599.5b	\$599.2b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月20日～5月26日)

USD/RUB: 77.00～84.00

中長期的なルーブル安方向への展開が続くという見方に変わりはない。(1) 經常収支や財政収支など通貨ファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることが最大の理由である。G7などが経済制裁として科しているロシア産原油の輸入価格の上限設定措置を考慮すれば、ロシア産原油が国際的な指標であるブレントと比較して割安な水準で取引されることは避けられず、原油収入のアップサイドも限定的となろう。(2) また、海外への資金流出も継続する公算が大きい。もちろん、海外の投資家や企業がロシア国内から資金を海外に持ち出すことは厳しく制限されている。むしろ注目を集めているのは、ロシアの個人や企業が友好国に自らの資産を移そうとする動きや、ロシアの輸出企業が稼いだ外貨を国内に還流させずに国外に滞留させる動きである(外貨売り/自国通貨買いのフロー減少につながる)。アップサイドリスクとしては、ロシア中銀の追加利上げ観測が挙げられるものの、金利収入を目的とする海外からの資金流入が見込めない以上、ルーブル安圧力を食い止めるには力不足であろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

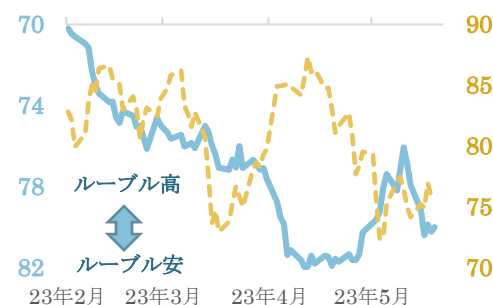
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/25	14:00	外貨準備高	5/19			\$599.5b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

実線: ウラル産原油価格

点線: ブレント先物価格(右軸)

(1バレルあたりドル)



ロシア 実質GDP成長率

(前年同期比%)



(資料: ロシア統計局/ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

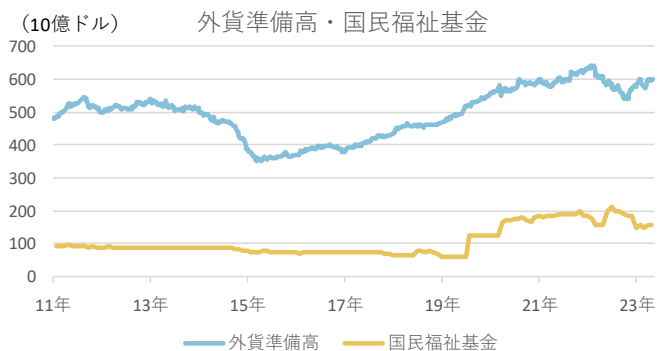
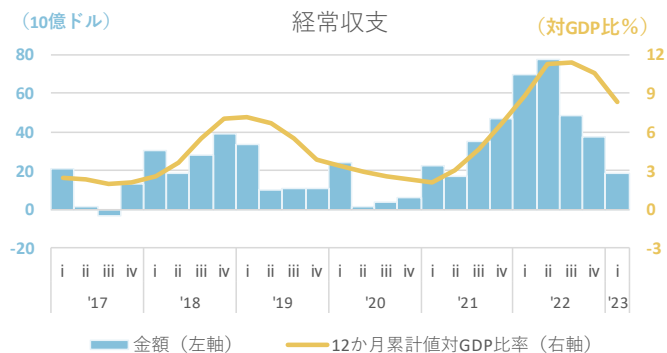
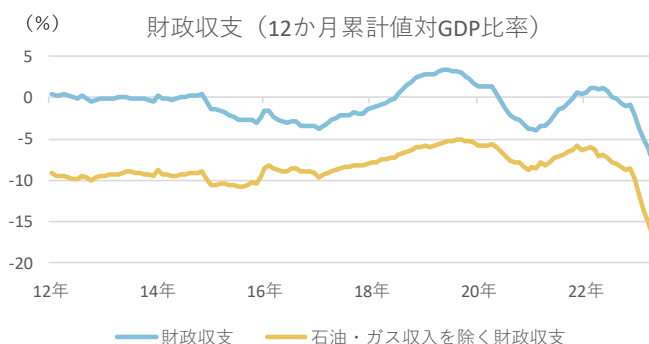
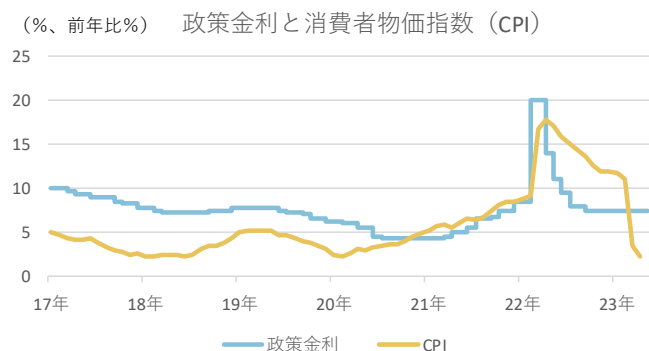
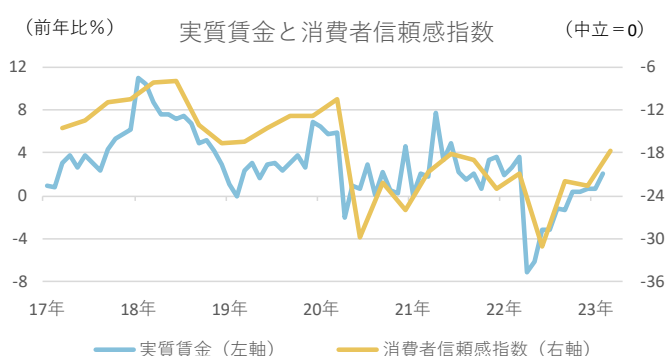
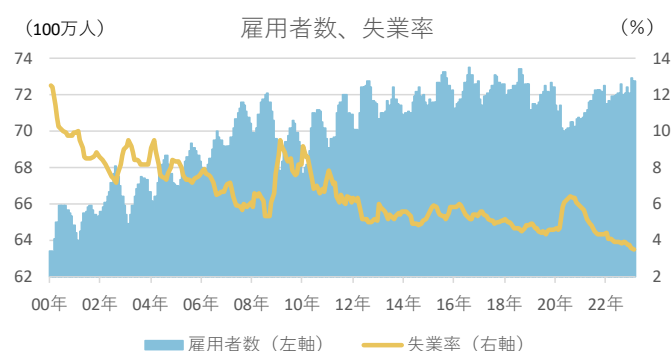
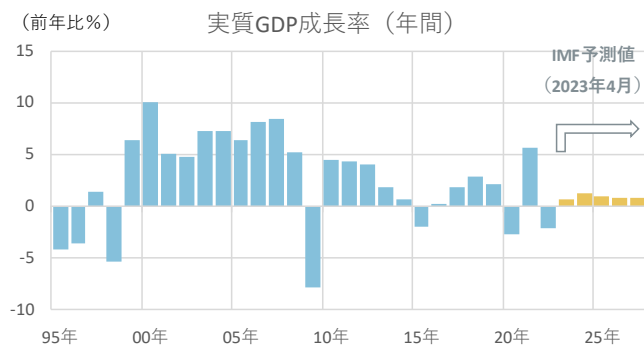
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料) ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。